

議会の今を伝える

2018. 2. 1 No.48

編集：議会だより編集委員会 印刷：有限会社 利根印刷所

発行：沼田市議会議長 星野 稔

〒378-8501 沼田市西倉内町780

TEL:0278-23-2111 FAX:0278-22-6333

沼田市

議会 だより



テラス沼田工事状況を視察

12月定例会号

12月定例会は、12月5日に招集され、18日までの14日間の会期で開催されました。付議案件は、市当局から条例5件、補正予算6件の合計11件が提出され、全て原案可決となりました。

補正予算では、市民体育館改修に係る費用、武道場整備事業実施設計業務委託料などが提案され、可決しました。

12月定例会の概要

議会日程表

第6回12月定例会

月 日	会 議	内 容
12月5日	本会議	開会 提案理由の説明 質疑・討論・採決
12月7日	本会議	一般質問（4人）
12月8日	本会議	一般質問（4人）
12月11日	本会議	一般質問（4人）
12月12日	委員会	質疑・討論・採決
12月14日	委員会	民生福祉常任委員会
12月18日	本会議	委員長報告 質疑・討論・採決 閉会



沼田市鳥獣被害防 止計画について

桑原 敏彦 議員



1期4年の政策の
実績・総括及び市
長の2期目出馬に
ついて
沼田公園長期整備
構想について
市役所の跡地利用
について

大島 崇行 議員

- Q1** 横山市長、市長就任から早いもので、3年7か月が過ぎようとしています。「決断と実行のキャッチフレーズ」でいくつかの公約を掲げ、多くの施策を進めてきましたが、どのように総括されているか伺います。
- A1** 市政を執行するに当たり、「暮らしを実感できる文化的生活」及び「豊かな等身大の沼田」を基本理念とし、「市民構想会議」を設置し、意見を参考にさせていただきました。議員各位をはじめ、市民の皆様のご指導、ご協力を賜り、私の目指すまちづくりは着実に成果を上げてきたと考えております。
- Q2** 2期目出馬へのお考えについて伺います。
- A2** 議会や市民の皆様のご理解を頂きながら、一定の成果を上げることができたと考えますが、テラス沼田や(仮称)利南運動広場の整備、これから給食センターや武道場などの整備にも着手する予定になっております。まだまだ多くの事業が完了に至っていないことを踏まえ、今後、後援会と相談する必要があると思いますが、引き続き市政を担うため出馬したいと考えております。
- Q3** 沼田公園長期整備構想について伺います。現在の沼田公園の野球場、テニス場の移転も決まり、工事が進んでおります。利根英靈殿、旧生方家住宅の移築について、沼田城跡発掘調査の今後の展望について伺います。
- A3** 利根英靈殿については、遺族の会の代表と、また、旧生方家住宅については、群馬県教育委員会と相談しながら、文化庁と協議を進めたいと考えております。沼田城跡発掘調査については、発掘調査の成果を整理して文化庁と県の指導を受けながら、専門部会で調査方法等を検討し進めたいと考えております。
- Q4** 沼田市役所現庁舎の跡地利用について、約4,000㎡もの土地の活用について、どのようにお考えか伺います。
- A4** 本年3月、公共施設等総合管理計画を策定し、既存庁舎跡地に関しても、民間のノウハウや資金の活用を検討すべきとの考えから、本年8月から10月にかけてサウンディング型市場調査による民間事業者との対話を実施しました。民間活用の可能性を確認し、今後は公民連携による資金活用の検討を考えております。
- Q5** 今後の鳥獣被害対策に携わる専門的知識を持った人材育成の推進について
- A5** 鳥獣被害対策における専門的知識は重要であり、各市町村
- Q6** 今後の鳥獣被害対策の支援の拡充について
- A6** 鳥獣被害対策は、交付金を活用して行っていました。要望額に対し減額の状態が生じております。しかしながら、地域が被害対策に要する経費の状況は、まだまだ増加する傾向にあることから、県補助金等の活用、補助対象の拡充を検討してまいりたいと考えております。
- Q1** 現状を踏まえた今後の捕獲強化策について
- A1** 実施隊が捕獲従事者となり捕獲に取り組んでおりますが、捕獲は技術と経験を要するものであり、捕獲従事者の負担軽減や捕獲に必要な罟等の資材の支給を積極的に行い、捕獲意欲の向上を図り、今後の捕獲の強化につなげてまいりたいと考えております。
- Q2** 鳥獣被害対策実施隊の隊員数の今後の推移について
- A2** 隊員数については、都合により狩猟登録を見送る方と、新たに隊に加入される方の補充に
- Q3** 地域における鳥獣対策の体制整備の推進について
- A3** 沼田市鳥獣被害対策協議会を設置し、地域における鳥獣被害対策を実施しております。
- Q4** 鳥獣被害対策におけるドローン等の新技術の導入について
- A4** ICT技術を活用した新技
- 術の導入は、捕獲作業の効率化を図るだけでなく、捕獲関係者の意欲向上につながる重要な取り組みであると認識しております。また、ドローン等による対策は、現在全国各地で実施され、その事例が報告されている状況であり、本市においても、その状況を注視し、今後の対策の一端として導入の研究をしてまいりたいと考えております。
- Q5** 今後の鳥獣被害対策に携わる専門的知識を持った人材育成の推進について
- A5** 鳥獣被害対策における専門的知識は重要であり、各市町村
- ともに人材不足が課題となっておりと認識しております。



ミズノと包括連携協定を締結

健康なまちづくり 市民協働の充実 安心安全なまちづくり

高山敏也 議員(一問一答)



消防団による市内パレード

鳥獣害対策について 沼田市消防団について 沼田への観光客の誘客に向けた取り組みについて

永井 敏博 議員

Q1 電気柵や防護柵(フェンス)などの設置状況についてと今後の取り組みについて伺います。

A1 電気柵につきましては、設置規模が大きい箇所の要望には、主に交付金事業を活用し、規模の小さい箇所につきましては、市の単独補助事業の活用を考えています。防護柵につきましては、利根町において事業を継続するとともに、地元から強い要望がありました池田地区においては、池田地区振興協議会を通じて説明をさせていただき、事業計画を策定しているところであ

り、採択基準及び設置・管理に関する調整が整った地域から事業を実施したいと考えています。

Q2 ヤマビル対策について

A2 28年の7月に群馬県と連携し、特にヤマビルの生息が多い池田地区においてヤマビル対策の講習会を開催し、地域の方々への啓発活動を実施いたしました。今後につきましては、引き続き関係機関と連携し、被害対策の啓発活動に取り組みたいと考えています。

Q3 女性消防団員の役割について

A3 当面は、「出初め式」など、

A3 職員の健康づくりとして有効ですが、導入には検討が必要であると考えております。

Q4 夏休みラジオ体操の実施状況と今後について

A4 現状17の町で取り組んでいます。地域の実情等、今後、状況を見守っていききたいと考えております。

Q5 健康なまちづくりを推進する庁内連携について

A5 「スマートウェルネスシティ」は、ウォーキングを契機として、まちづくりの推進や活性化など、様々な分野へ展開するもので、庁内推進委員会を設置しました。

例年実施されている「消防団イベント」への参加のほか、火災予防や救命講習などの「予防消防」及び「広報活動」を予定しています。今後、「女性消防隊」が活動していく中で、隊員はもとより団役員一丸となり新たな活動を見だし、実践していただければと考えています。

Q4 沼田公園内の鐘樓の開放について

A4 一般開放した場合、観覧者の安全を確保するための補強・改修工事の実施や運用管理を行う専任の人員配置も必要となりますので、各要素を考慮し総合的に検討したいと考えています。

Q6 禁煙と受動喫煙防止に向けた取り組みについて

A6 喫煙習慣は嗜好にとどまらない健康問題であり、学校施設は全面禁煙、市有公共施設内は原則全面禁煙等、禁煙や受動喫煙防止に取り組んでおります。

Q7 地域コミュニティの現状と今後について

A7 地域の活力は低下しつつありますが、コミュニティは地域の基礎的かつ不可欠なものであり、区長会への支援や施設整備・事業の支援を行い、新たな地域自治組織の設置も検討したいと考えております。

的に検討したいと考えています。

Q5 21世紀の森の利活用について

A5 森林文化都市宣言を行っている本市においても、緑豊かな21世紀の森は大変貴重な施設であり、現在は利根沼田森林組合が指定管理を行っています。利活用につきましては、所管する群馬県と相談しながら、本市はもちろん、利根沼田地域での連携活用も視野に入れ研究したいと考えています。

Q8 地域コミュニティ窓口や市民ライブラリー設置について

A8 区長会の事務局が総務課内に設置され、地域の相談などに応じています。また市民活動センターでは、市民活動の支援・相談等を行い、市民図書館では資料提供、調査などを行っております。

Q9 夜間反射材着用の普及と購入補助について

A9 ウォーキング講習会、交通安全講話等で無料配布しています。購入補助については、今後、調査研究していききたいと考えております。



新しくなった利根小学校

新年度予算について
国民健康保険について
奨学金について

大東 宣之 議員

Q1 これまでの市政運営について、評価と課題についてどのような考えているのか伺います。

A1 厳しい財政状況にあり、高度化・多様化する市民ニーズ、加速度的に進む人口減少・超高齢化社会への対応、社会保障関係経費など増加する行政需要を支えるため、財政運営の健全化を図っていくことに併せ、地域の活性化に向けた施策の推進の両立が課題であると考えております。雇用の安定をはじめとした諸施策の展開を図るとともに、基礎自治体としての使命である市民の安全・安心の確保と市民

でも、指導を行っているものと考えています。

Q3 外国人の児童生徒の保護者に対して学校の情報提供はどのようにされているのか伺います。

A3 学校情報の提供は、通知等を英訳したり、担任が学級だよりの漢字にふりがなを付けたりして渡すようにし、保護者の知り合いの方にも、通訳としてご協力いただくなど、各学校で対応しています。

Q4 児童・生徒に対して、学習の基本となる日本語をどのように教えているのか伺います。

A4 個別の日本語指導を必要と

サービスの充実・向上に努めてきました。

Q2 新年度予算編成における市政運営の重点施策についてどのように考えているのか伺います

A2 第六次総合計画の施策の大綱に位置づけられた「保健・医療・福祉」、「自然環境・生活環境」、「教育・文化」、「都市基盤」、「地域経済」、「構想の推進」を重点施策とし、予算の重点配分によるメリハリのある予算編成にしたいと考えております。

Q3 国民健康保険の都道府県化によって加入者への影響はどのようなになるのか伺います。

A3 新制度では、県が安定的な財政運営や効率的な事業の確保など国保運営の中心的な役割を担う一方、地域住民と身近な関係にある市町村は、資格管理や保険給付、保険税の決定や賦課・徴収、保健事業等を引き続き担うこととなりますので、制度移行に際して、個々の加入者に手続き上のご負担をおかけすることはないものと考えられます。

Q4 国民健康保険税はどのようなになるのか伺います。

A4 前期高齢者交付金をはじめとする現行制度上の交付額の過

大・過少の精算処理等の影響が、平成31年度の納付金算定にまで及ぶこととなりますので、引き続き医療費動向等に留意しつつ、適正な運営に努めてまいりたいと考えております。

Q5 給付型奨学金の創設についての見解と、今後の対応をどのようにするのか伺います。

A5 給付型奨学金制度を創設することにつきましては、財政面や対象者の選定に関わる学力要件、及び家庭の経済状況の判断軸の決定などの課題もありますので、引き続き、研究してまいりたいと考えております。



希望に満ちた新1年生

人にやさしい多文化共生のまちづくりについて
就学援助のランドセル等「新入学児童生徒学用品費」の入学前支給について

井上 弘 議員

Q1 言葉が通じづらい外国人に対して、行政窓口や広報紙、文書などでの行政情報の提供方法はどのようなものか伺います。

A1 市のホームページを平成28年度にリニューアルし、英語の他、簡体字、繁体字の中国語などの外国語に自動的に変換する機能により情報提供しています。

Q2 日本語教室のほかに地域社会のルールについて学ぶ場はあるのか伺います。

A2 日本語教室でボランティア講師による日本語指導のほか、地域文化などについても指導を行っており、勤務先や学校など

する児童に、翻訳アプリケーションを活用し、学校生活全般を通して日本語を習得していけるように環境を整えています。

Q5 多文化共生社会を目指すことに対して市長はどのようにお考えか伺います。

A5 日本人と外国人がお互いの文化的違いを認め合い、外国人も地域住民の一員として、ルールやマナーを守りながら生活していく多文化共生のまちづくりを推進したいと考えています。

Q6 本市における就学援助の現状と実施状況についてお聞きします。

A6 文部科学省からの通知を踏まえ、国の単価を基準として事業を実施しています。今年度の新入学学用品費は、小学1年生8人、中学1年生43人の準要保護児童生徒の家庭に対して、7月に支給しました。

Q7 就学援助におけるランドセル等「新入学児童生徒学用品費」の入学前からの支給について、準要保護児童生徒への対応をどのように図る考えか伺います。

A7 保護者の経済的負担を軽減するため、入学前の3月中旬に前倒し支給できるように、12月補正予算に計上しています。

大・過少の精算処理等の影響が、平成31年度の納付金算定にまで及ぶこととなりますので、引き続き医療費動向等に留意しつつ、適正な運営に努めてまいりたいと考えております。

Q5 給付型奨学金の創設についての見解と、今後の対応をどのようにするのか伺います。

A5 給付型奨学金制度を創設することにつきましては、財政面や対象者の選定に関わる学力要件、及び家庭の経済状況の判断軸の決定などの課題もありますので、引き続き、研究してまいりたいと考えております。



ちぐさ幼稚園で餅つき

健全な財政運営と 補正予算 人口減少とゴミ処 分場 市立幼稚園の保育 料の値上げ

金子浩隆 議員(一問一答)

Q2 市民体育館整備事業(10億720万9千円)と大事な基本設計をすっ飛ばして実施設計に入る武道場整備事業(4,873万円)は、なぜ12月補正予算なのか伺います。

A1 緊急に措置しなければならぬものなど、予算の調製後に生じた事由に基づいて、補正予算を調製しました。

Q1 財政調整基金をどんどん取り崩しての補正予算から、合併特例債をあてにした駆け込み、大型補正予算。市長の「補正予算」に対する基本的考え方を伺います。

A1 緊急に措置しなければならぬものなど、予算の調製後に生じた事由に基づいて、補正予算を調製しました。

Q2 これら2事業は、当初予算編成時点では事業内容等が定まらず、事業内容が決定し、実施のめどが立ったこと及び事業完了時期等を考慮し、12月補正予算として提出しました。

A3 上川田処分場は埋立残容量がわずかととなり、災害緊急時の

Q3 急激な人口減少、技術開発によるゴミの再資源化、民間活力の導入、民間委託を進めていく中で、新しい公共処分場の建設がどうしても必要なのか。上川田処分場の現状と、一般廃棄物最終処分場を今後どのようにしていくのか伺います。

A4 平成28年5月に第1回地元説明会が開催され、地形測量、境

Q4 佐山町に建設が計画されている民間の最終処分場は、現在どうなっているのか伺います。

A5 全ての子供に公平に、質の高い教育・保育を実施することを基本に、公私立幼稚園統一の保育料を設定し、平成30年度から実施します。

Q5 「3年後までに、3歳から5歳のすべての子供たちの幼稚園・保育園の費用を無償化する」という国の動向にどのように対応し、来年度からの「沼田市立幼稚園の保育料の値上げ」をどうするつもりか伺います。

A6 障害者就業・生活支援センターや利根沼田障害者相談支援センター等の相談窓口と事業所や学校現場が連携し、就職活動や職場定着にかかわる支援を実施しております。

Q6 障害のある人の生活の安定を図るための支援について伺います。

A7 沼田市シルバー人材センターへの助成や活用を図るとともに、「健康」、「友愛」、「奉仕」の活動に取り組みる老人クラブへの支援を行っているところです。

Q8 将来目標人口への取り組みと急激な人口減少にどのように対応するのか伺います。

A9 沼田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンに掲げる「若年層・子育て世代の転出抑制」、「合計特殊出生率上昇」、「子育て後世代のU・I・ターン促進」の3つの基本的視点による施策を重点的に取り組むこととしています。

Q9 高齢になっても安心して暮



工事が進むテラス沼田

活力あるまちづくりと適正な財政運営について 中心市街地の活性化及び市民サービスの向上について 沼田市第6次総合計画について

中村 浩二 議員

Q1 平成30年度当初予算の財源確保にどのように取り組むのか伺います。

A1 事業の見直しを行うほか公共施設等総合管理計画による公共施設等の維持経費の削減など、行財政改革を推し進め、総合的なスリム化を図り、財源の確保に取り組んでまいりたいと考えております。

Q2 合併特例債充当事業にどのように取り組み、推進するのか伺います。

A2 合併特例債は、合併後の市町村の一体性の速やかな確立及び均衡ある発展に資するために

行う公共施設の整備事業に限り、充当することが出来るものであり、適正性に配慮しながら、着実に推進してまいりたいと考えております。

Q3 テラス沼田の改修工事等の進捗状況及び今後の利活用について伺います。

A3 既存の内装解体、設備機器の撤去を行い、現在、吹き抜けを設けるため床の解体、壁や床の補強などを行っております。今後は、市庁舎、市民活動施設及び商業・業務機能を合わせ持った複合施設として整備し、多くの方に利用される施設として、ま

た災害時の防災拠点として、役割を発揮できるよう、計画的に事業を進めてまいりたいと考えております。

Q4 将来目標人口への取り組みと急激な人口減少にどのように対応するのか伺います。

A4 沼田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンに掲げる「若年層・子育て世代の転出抑制」、「合計特殊出生率上昇」、「子育て後世代のU・I・ターン促進」の3つの基本的視点による施策を重点的に取り組むこととしています。

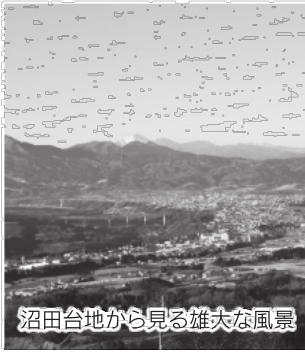
Q5 高齢になっても安心して暮

らせるまちづくりについて伺います。

A5 沼田市シルバー人材センターへの助成や活用を図るとともに、「健康」、「友愛」、「奉仕」の活動に取り組みる老人クラブへの支援を行っているところです。

Q6 障害のある人の生活の安定を図るための支援について伺います。

A6 障害者就業・生活支援センターや利根沼田障害者相談支援センター等の相談窓口と事業所や学校現場が連携し、就職活動や職場定着にかかわる支援を実施しております。



沼田台地から見る雄大な風景

沼田市不妊治療実施要綱の見直し
子ども食堂
動物愛護の普及啓
発推進
椎坂峠安全対策・ビューポイント整備

星野妙子 議員(一問一答)



台湾一行が沼田を訪問

公共施設等の将来
について
都市との交流につ
いて
台湾との交流につ
いて

久保 健二 議員

Q1 個別計画策定の現状と進捗見込みについて伺います。

A1 個別計画の第1期アクションプランは今年度から平成33年度までの5年間とし、維持管理コストが高い施設や建築年数が長い施設など早期に対応すべき施設については優先検討施設として位置付けており、具体的な対応方針と取り組みスケジュールの取りまとめまで、あと一歩という段階であります。

各町や地区の集会施設と屋内運動施設、小中学校、消防施設、公営住宅などは、早期に種別全体を見据えた個別計画案を策定

し、取り組みを進めます。
Q2 友好協定や姉妹都市締結の考えについて伺います。

A2 行政だけでなく、経済や観光など幅広い分野で市民レベルでの交流が進み、多くの市民が交流に関わりが持てるような友好関係が築かれ、互いの市民が納得のいく交流が図られることが理想と考えております。

Q3 締結の効果はどのようなものが見込まれるか伺います。

A3 締結の効果につきましては、市長や議員間での相互交流や、物産やインバウンド誘客などの経済や観光分野での交流、子ど

を考えているか伺います。

A2 子どもが1人で食事をする孤食を防ぎ、「団らん」と居場所を提供する場として重要な役割を担っていると認識します。「地域の子どもたちを地域で育てる」という理念に期待し今後も周知等に協力してまいります。

A1 1年以上の居住条件は、県下ほぼ全ての自治体が設定しており、県内自治体の状況等を調査・研究してまいります。

Q2 9月30日「まちのこども食堂めまた」がスタートしました。継続した運営を行うために沼田市はどのような関わり方と支援

もの相互訪問などによる教育分野の交流など、幅広い分野において、その効果が期待できるものと考えております。

Q4 訪台を振り返ってみて、その成果をどう感じているのか伺います。

A4 台湾との交流は、利根町出身の新井耕吉郎氏が台湾紅茶の発展に貢献されたことを縁に、平成27年から老神温泉観光協会を中心に行われており、私も訪問させて頂きました。

その後も、台湾南投県の魚池郷長の来訪をはじめ、観光協会、地元議員、観光事業者などの相

いて市長に伺います。

A3 地域の猫の繁殖制限処置(避妊去勢手術) 助成については前橋市・高崎市が助成を行っておりますので、先進地や他市の状況を確認しながら研究してまいりますと考えています。

Q4 犬・猫の処分を減らすための動物愛護普及啓発推進と佐山町にある県の施設、動物愛護センター管理保護棟との連携について伺います。

A4 苦情や相談も増加しており、正しい飼い方や相談窓口の紹介等を広報やホームページを活用し周知します。群馬県動物愛護

互交流により、現在では市民レベルでの交流も盛んとなり、より深い信頼関係が構築されつつありますので、今後もさらなる交流を図り台湾からの観光誘客につなげたいと考えております。

Q5 魚池郷との今後の交流をどのように考えているのか伺います。

A5 魚池郷とは新井耕吉郎氏という歴史的にも深いご縁に恵まれておりますので、今後も行政、観光協会、観光事業者、市民レベルそれぞれにおいて更なる交流が図れるよう努めたいと考えております。

センターは総合的な動物愛護行政推進を図る施設であり、本市に管理保護棟が設置されており、今後も連携に努めます。

Q5 椎坂峠の道路管理とビューポイントの整備について伺います。

A5 平成25年椎坂バイパス開通に伴い旧道部分の管理が群馬県から沼田市に移管となり年に1回業者委託による沿線の草刈等安全管理に努めています。椎坂峠からの眺望は河岸段丘を望む素晴らしいものですが、市道敷地以外全て民有地であり、慎重に研究し考えたいと思います。



多那保育園卒園式

保育料の一層の軽減と保育士の待遇改善の実施を確実に
市内産業の継承・発展をめざして「就業交付金」の制定を

井之川 博幸 議員



全国・関東大会に出場する中学生

「運動部活動のあり方」に関する総合的なガイドライン策定を見据えた本市の対応について
学校部活動における諸課題への基本的考え方について

高柳 勝巳 議員

Q1 本市における保育園の種類別数及び定員数と実入園人数及び11月末現在での入所待ち児童数と今後の待機児童の見通しについて

A1 市立保育園は6園で定員の合計は509人、利用児童は422人。私立保育園は3園で定員290人、利用児童341人。認定こども園は4園で保育部は定員360人、利用児童403人。地域型保育事業は1園で定員30人、利用児童27人。企業主導型保育事業は1園で定員90人、利用児童35人です。また、11月末現在で7人の児童が年度途中で

Q2 保育料の本市における現在の軽減内容と一層の軽減を進めることについて

A2 第3子以降の保育料無料化、母子世帯等の軽減範囲の拡大などにより、利用者負担額は国基準の53パーセント程度に設定していますが、国の幼児教育無償化などの動向や、本市の教育・保育の状況、長期的な財政負担等を勘案しながら、引き続き、支援の充実に取り組んでまいりたいと考えています。

Q3 保育士の待遇改善について、市立保育園保育士の平均給与と月

A3 保育士の平均給与月額額は28万4,346円、通勤手当等を含む年収総額の平均は510万2,277円です。嘱託保育士は勤務時間が正規職員の4分の3ですが、平均報酬月額額は17万2,665円、年収総額の平均は207万1,980円です。

市内の民間保育園等の保育士の給与等については、現在、お示

Q1 現在は任意である部活動に割かれる負担割合が、本来業務である授業自体を圧迫している現状改善への対応策を伺います。

A1 現在、県において「教職員の多忙化解消に向けた協議会」の中で、適正な部活動の運営に向けて、週当たりの休養日の設定や、活動時間等を示したガイドラインの策定に向けて検討されており、県内の全市町村教育長の会議においても、協議を行っているところです。

また、国や県において、部活動指導員の配置に向けた予算化も検討されていることから、本市

といたしましても、部活動指導員の試験的な配置に向けて検討しているところであり、教員の担うべき業務に専念できる環境づくりを努めていきたいと考えております。

Q2 義務教育としての部活動がその目的を踏まえ、休養日がきちんと確保され「週2日」に至る方策を伺います。

A2 現在、県が実施している教員の多忙化解消のための協議会の検討においても、中学校においては、週2日以上休養日を設定することが検討されており、今後の県の動向を注視すると

もに、校長会等において、部活動の適切な運営について、引き続き、指導していききたいと考えております。

Q3 合宿代やユニフォーム等の費用額に今後、全ての家庭が負担し得る「基準」を設けることへの考えを伺います。

A3 市内中学校を対象として実施した調査の結果では、年間の平均負担額として、宿泊を伴う大会等への参加代が約2,300円、ユニフォームや用具等の購入代が約1万6,600円の費用負担が生じております。

一律の基準は設定しづらい面

がありますので、引き続き、保護者の費用負担に配慮するよう、指導していききたいと考えております。

Q4 各種大会や遠征等における「車出し」の頻度等、家庭の時間的、物理的負担の制限を含めた軽減策を伺います。

A4 調査の結果では、各種大会や遠征等における一家庭当たりの車出しの頻度の平均は、1か月に1・5回となっています。

家庭の負担を軽減するためにも、大会等の計画を早め家庭へお知らせする等、各中学校に対して指導していく考えです。

しできる資料がありません。

Q4 国の「保育士待遇改善」について本市の状況は。

A4 積極的に制度を活用していただけるよう各園へ働きかけ、その実績についても確認してまいりたいと考えています。

Q5 本市産業の継承・発展をめざして、市独自の産業後継者への支援制度、仮称「就業交付金」の制定について

A5 今後、調査研究をしてまいりたいと考えています。

議案第73号 平成29年度 沼田市一般会計 補正予算(第4号)(概要)

本補正予算は、国県支出金の確定などにより既決の予算に増減を生じるもの、緊急に措置しなければならないものなどに限定し、既決の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ16億3,984万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ255億3,033万3,000円とするものです。

【歳出】
第2款 総務費は、1,381万1,000円の追加ですが、総務管理費では、企画費で水と緑の大地ふるさとぬまた基金積立金の追加などです。

第3款 民生費は、1億7,078万4,000円の追加ですが、社会福祉費では、老人福祉費で介護保険特別会計繰出金の追加、障害者福祉費で訓練等給付費及び障害児給付費の追加、児童福祉費では、児童措置費で保育所入所委託料及び施設型給付費の追加などです。

第4款 衛生費は、1億2,681万円の追加ですが、保健衛生費では、国民健康保険総務費で国民健康保険特別会計繰出金の追加、保健事業費で後期高齢者医療特別会計繰出金の減額、水道費では、簡易水道指導費で簡易水道事業特別会計繰出金の減額などです。

第6款 農林水産業費は、849万円の追加ですが、農業費では、農業委員会費で農業委員会委員報酬の追加などです。

第7款 商工費は、761万5,000円の追加ですが、商工費では、工業振興費で企業誘致推進助成金の追加などです。

第8款 土木費は、6,404万7,000円の追加ですが、道路橋りょう費では、道路新設改良費で市道T106号線道路改良工事費の追加などです。

第10款 教育費は、12億2,685万2,000円の追加ですが、小学校費では、小学校建設費で升形小学校屋内運動場非構造部材耐震化に係る費用の計上、中学校費では、中学校建設費で沼田南中学校、沼田東中学校及び白沢中学校の武道場非構造部材耐震化に係る費用の計上、社会教育費では、埋蔵文化財調査費で沼田城遺跡発掘調査支援業務委託料の減額、保健体育費では、体育施設費で市民体育館改修に係る費用及び武道場実施

設計業務委託料の計上などです。

設計業務委託料の計上などです。



第11款 災害復旧費は、2,000万円の追加ですが、農林水産施設災害復旧費で、柳町地区の水路1か所、池田地区の農地及び道路2か所並びに川田地区の農地、農道及び水路13か所に対する災害復旧費の計上です。

【歳入】
第14款 国庫支出金は、9,215万1,000円の追加ですが、国庫負担金では、民生費国庫負担金で障害者自立支援給付費負担金、障害児入所給付費等負担金及び子どものための教育・保育給付費負担金の追加、国庫補助金では、教育費国庫補助金で学校施設環境改善交付金の追加などです。

第15款 県支出金は、3,316万3,000円の追加ですが、県負担金では、民生費県負担金で障害者自立支援給付費負担金、障害児入所給付費等負担金及び子どものための教育・保育給付費負担金の追加、県補助金では、民生費県補助金で施設型給付費等補助金の追加、農林水産業費県補助金で農地利用最適化交付金の計上などです。

第17款 寄附金は、870万9,000円の追加ですが、総務費寄附金で水と緑の大地ふるさとぬまた寄附金の追加、民生費寄附金で株式会社アドバンス様、沼田プロバスケットボールの寄附金をそのご意志に沿って福祉振興事業基金寄附金として追加、商工費寄附金で山田豊様、サンパウ協力会様、株式会社関廻様からの寄附金をそのご意志に沿って沼田城建設基金寄附金として追加するものです。

第18款 繰入金金は、3億3,656万2,000円の追加ですが、基金繰入金で財政調整基金繰入金の追加です。

第21款 市債は、11億5,140万円の追加ですが、土木債で道路整備事業債の追加、教育債で小学校施設耐震化事業債、中学校施設耐震化事業債及び体

育施設整備事業債の追加などです。

反対討論要旨

議案第73号 平成29年度沼田市一般会計補正予算(第4号)、武道場整備事業実施設計業務委託料、実施設計業務委託料4,873万円に反対の討論を行います。沼田公園にある柔道・剣道場を移設して新しい武道場を、有利な補助金と合併特例債を使って建設することには、全く反対ではありません。

しかし、合併特例債バブルの中で、駆け込み利用で大慌てしながら、本来の基本計画、基本設計、実施設計、建設工事の手順を曲げて、整備事業を進めていくことに危惧の念を抱きます。

5億から7億という巨額の公金を使つての大事業です。緊急対応ではなく、できる限りのしつかりとした手順を踏んで、利用する人はもとより、応援をする市民の皆さんが納得のいく、すばらしい施設を整備しなければなりません。

先ほど伺いました全体のタイムスケジュールの中でも補助金申請など、基本設計での概算工事費で対応できるのではないで

しょうか。

平成30年度新年度予算に、基本設計からの予算を計上し直すべきです。しっかりとした手順を踏んで、市民・議会への丁寧な説明を重ねていただき、事業を進めていただきたく要望いたします。反対討論といたします。

賛成討論要旨

議案第73号 平成29年度沼田市一般会計補正予算（第4号）に賛成の立場から討論を行います。

今回の補正予算につきましては、歳入歳出予算の総額に約16億円を追加する、本市にとって相当な大型の補正予算であることは否めません。しかしながら、その内容につきましては、学校施設の耐震改修工事や、ドイツ・フエンシングチームの事前合宿誘致が決定したことに伴う市民体育館整備事業、また、かねてよりの懸案事項であった武道場整備など、本市にとって有利な起債である合併特例債の使用年限が差し迫った今、早期の着手が求められる事業ばかりです。特に、武道場整備については、平成26年に「武道館建設を求め

る請願書」が議会に対し提出されており、同年第1回定例会において、全会一致で採択された経過もあります。現在は、昭和30年建設の武徳殿、また、昭和48年に沼田小学校から移築された沼田小学校記念講堂が武道場の任を果たしている状況で、老朽化は著しく、迅速な整備が必要であることは論を待ちません。

今後、本市にとってはこれまでにないほどのペースで、大型の事業が実施されていく現状にあります。当局におかれましては、各事業の進捗が、別の事業に対し影響を及ぼさないよう、計画やスケジュールを十分精査の上、事業を進捗されるよう望むものであります。

そして何より、事業の有益性・必要性について、引き続き説明責任を果たされ、市民の理解を醸成されるよう、強く望むものであります。

以上の見解を表明し、賛成討論といたします。



請願第4号

「介護労働者の労働環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書提出を求める請願
民生福祉常任委員長報告



民生福祉常任委員会に付託されました、請願第4号 「介護労働者の労働環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書提出を求める請願について、審査の結果をご報告申し上げます。

本請願の趣旨は、介護労働者の人材確保・離職防止のための実質的な対策や安全・安心な介護体制の確立は国の責任で行うべきものであり、「介護職員をはじめとする介護現場で働くすべての労働者の処遇改善策を講じ、賃金水準の引き上げを図ること。処遇改善の費用は国費で賄うこと」、「介護保険施設の人員配置基準を利用者2人に対して介護職員1人以上に引き上げること」と、これらを「保障するため、介護報酬の引き上げを行うこと。

同時に、保険料負担・自治体負担を軽減するために、介護保険財政における国の負担割合を大幅に引き上げることについて、国に対する意見書の提出を求めるものであります。

本委員会は、全員出席のもと12月14日に常任委員会を開催し、執行部より説明を受け、慎重な審査を行った結果、全会一致により本請願を「趣旨採択すべきもの」と決しました。

これより審査の経過をご報告申し上げます。

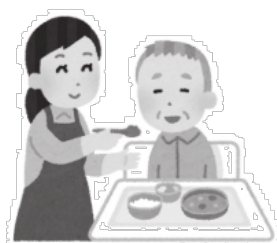
2025年問題をはじめ、超高齢化を迎える中で、介護の人材確保・離職防止対策は喫緊の課題であり、介護労働者の労働環境及び処遇の改善が必要であることは、委員全員が賛同するところであります。

委員からは、厳しい現状の中で国の制度として賃金引き上げや改善の方向性が出されていることを重く受け止めながら、人材不足の解消や処遇改善については、介護だけの問題ではなく障害者や子育ての施設等も含め社会保障制度全般の課題として検討をしていく必要があること、また、賃金が改善されない限り人員配置不足も解消されない

といった意見があり、全会一致で「趣旨採択すべきもの」と決定した次第であります。以上申し上げ、委員長報告といたします。

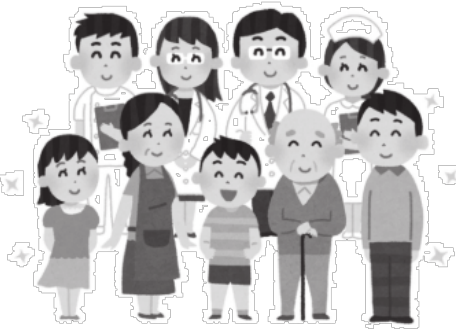
請願第5号

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書提出を求める請願
民生福祉常任委員長報告



民生福祉常任委員会に付託されました、請願第5号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書提出を求める請願書について、審査の結果をご報告申し上げます。

本請願の趣旨は、安全・安心の医療・介護を実現するためにも、医療従事者の勤務環境の改善を実効性のあるものにし、医療提供体制を充実していくために、「医師・看護師・医療技術職・介護職などの勤務時間、夜勤交替制労働などにおける労働



環境を改善すること」、「医師・看護師・医療技術職・介護職を増員すること」、「患者・利用者の負担軽減をはかること」、「費用削減を目的とした病床削減は行わず、地域医療に必要な病床機能を確保すること」について、国に対する意見書の提出を求めるものであります。

本委員会は、全員出席のもと12月14日に常任委員会を開催し、執行部より説明を受け、慎重な審査を行った結果、全会一致により本請願を「趣旨採択すべきもの」と決しました。

これより審査の経過をご報告申し上げます。

医療・介護の現場において、人手不足や夜勤体制の状況、過重労働などの厳しい現状があり、

改善が必要であることは、地域医療・介護の充実の観点から委員全員が賛同するところであります。

委員からは、医療・介護の現場だけでなく障害者や子育ての現場を含め社会保障制度全般の課題として一体的に検討をしていく必要があること、今後も国の改善に向けての取り組みを期待し、推移を見ながら検討をしていきたいなどの意見があり、全会一致で「趣旨採択すべきもの」と決定した次第であります。

以上申し上げ、委員長報告といたします。

傍聴へ来ませんか

今回の定例議会は、2月27日の火曜日、午前10時からを予定しています。

市民の皆様は傍聴で、なお一層の緊張感のある議会となります。

ぜひ傍聴にお越しください。



平成29年第6回市議会12月定例会賛否状況

種別	番号	議案等名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
				林清史	永井敏博	桑原敏彦	茂木清七	中村浩二	坂庭直治	星野妙子	金子浩隆	井上弘	高柳勝巳	高山敏也	野村洋一	久保健二	小野要二	大東宣之	井之川博幸	大島崇行	大竹政雄	星野稔	星野佐善太
議案	68号	沼田市税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	69号	沼田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	70号	沼田市営土地改良事業に係る特別徴収金の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	71号	沼田市企業誘致推進条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	72号	沼田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	73号	平成29年度沼田市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	74号	平成29年度沼田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	75号	平成29年度沼田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	76号	平成29年度沼田市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	77号	平成29年度沼田市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	78号	平成29年度沼田市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4号	「介護労働者の労働環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書提出を求める請願	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書提出を求める請願書	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■各記号の見方 ○…賛成の者、×…賛成でない者

編集後記

新年最初の「議会だより」をご覧いただき、誠にありがとうございます。

昨年は沼田市第六次総合計画や、沼田市公共施設等総合管理計画の策定と、今後の沼田市の将来像が示された年でありました。また2020年東京オリンピックのドイツフエンシングチームの事前合宿地決定や、大手スポーツメーカー「ミズノ」との連携協定の締結、テラス沼田や（仮称）利南運動広場の整備事業が始まる等、懸案であった事業が着実に進捗し「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち」づくりの取り組みが図られた年でもありました。

今後とも地域経済の活性化や更なる観光振興対策、人口減少と少子高齢化の進行対策等、問題を先送りすることなく、市民の皆様と連携し沼田市の発展のために、議会としてもしっかりと取り組んでまいります。

今年も、市民の皆様にとって読みやすく、分かりやすい「議会だより」の制作を目指して、編集委員一同頑張つてまいります。

編集委員 林 清史